

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード

22111003

平成25年度作成

平成24年度
実施事業

事務事業名 通学合宿 みんなで学ぶ『子ども村』

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	1	自然環境運動の拠点づくりと人づくり
主要な施策	1	①体験的自然環境学習の場の充実
事務事業番号	003	事業開始年度 平成 21 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	親元を離れて子ども達の力で共同生活をしながら学校に通うことにより、子ども達の自主性・協調性や適応能力を伸ばし「生きる力」を身に付けさせるとともに、学年間交流や学校間交流を推進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>ネイチャーセンター「ふおれすと鉱山」で支援ボランティアと生活をともにし、自然体験や学習活動をしながら、学校へ通う「通学合宿」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の小学校を2地区に分け、前期（5～6月）後期（9～11月）1回につき4泊5日の日程で4回実施する。（今年度の4回目は暴風雪のため中止） モモンガくらぶによるプログラムや婦人団体による生活支援、大学生ボランティアの派遣による生活・学習支援等の協力を受けて事業を運営する。 <p>◆H24年度実績 参加者実数：97名 協力者実数：26名</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き地域ボランティア及び学生ボランティアの協力を得て事業を展開する。 学生ボランティアの派遣について、道教委と連携を深めて効果的な事業実施に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円	500		500		
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円		637	960	960	960
一般財源	名称	千円	560	868	560	1,060	1,060
事業費 合計			1,060	1,505	2,020	2,020	2,020

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 参加者実数	人	目標値	100	100	160	160	160
			実績値	105	106			
	②	目標値						
		実績値						

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<ul style="list-style-type: none"> 夏場に通学合宿の実施を望む声が児童・保護者から多くあるため、実施に向けて施設側と調整を行っているのだが、時期的に同施設自体が繁忙期で施設確保が難しい状況にある。 地域ボランティアの手助けが必要不可欠であるため、参加児童参加を募集する段階で、PTA等の参加呼びかけを同時に行っているが、なかなか集まらないのが現状である。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏場に実施できる施設を模索し方向性を検討する。 実施地区に限らず全市的に呼びかけをするなどの検討をしていきたい。 	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 現状においても社会教育団体や道教委と連携して事業を実施しており、更なる充実が図られた。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 参加者の中にはリピーターも多く、保護者からは、家庭とは違う生活の中で我慢することや協調性を育むことは、子どもたちの将来にとって大きな糧になると思うなど、多くの喜びの声をいただき、必要性が高い。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 安全管理上の経費や通学バス借上料等、必ずしも低予算とは言い難いが、参加児童の育成やボランティアのスキルアップなど、コスト以上の成果がある。また、事業成果の向上を目指すことが将来的に効率性に繋がる可能性がある。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 今年度は、暴風雪により例年よりも1回少ない開催だったが、年々参加者が増加している。また、事業実施後のアンケートでは保護者から子どもの成長を感じている声があり、数字に表しにくい部分での成果も着実に上がっている。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	事業終了後の参加児童や保護者対象のアンケートでは、子どもの生活リズムが整ったことや、自立心や責任感が見えてきた等、保護者のほとんどが事業継続を望んでおり、市民ニーズが高いため、更なる充実を図り実施したい。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
-----------	----	--